

CONTENTS

1. 第 57 回定時総会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 第 186 回理事会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3. 第 57 回定時総会後懇親会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
4. 第 47 回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始・・・・・・・・・・・・・4
5. お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

1. 第 57 回定時総会開催

【2026 年 6 月 11 日（木）、14：30～15：30 日本工業倶楽部】

当工業会の第 57 回定時総会を、日本工業倶楽部において開催し、下記の議案を審議・報告しました。審議の結果、全ての議案について承認可決しました。

当日は、ご来賓として経済産業省 製造産業局 産業機械課 瀬野容章課長補佐にご臨席頂き、議事最後に直近の政策課題についてご説明をいただきました。定時総会に先立ち、12 時から正副会長会議を開催し、定時総会の議案等について検討しました。

＜第 57 回定時総会＞

議題 1. 2025 年度事業報告について【審議】	議題 5. 役員退職慰労金の支給について【審議】
議題 2. 2025 年度決算報告について【審議】	議題 6. 役員の選任について【審議】
議題 3. 2026 年度事業計画（案）について【審議】	議題 7. 今後の会議・行事スケジュールについて【報告】
議題 4. 2026 年度収支予算（案）について【審議】	

※新たに、株式会社バルダン・長谷川伸氏、一般社団法人日本縫製機械工業会・立石譲二氏が理事に選任されました。

今後の主要な行事等は以下のとおりです。

日程・場所	会議・行事名等	議題 他
2026 年 10 月 16 日（金） ホテルグランヴィア大阪	正副会長会議 12：45～14：15	①第 187 回理事会の審議・報告事項 他
	第 187 回理事会 14：30～16：00	①2026 年度上期の事業概要について ②2026 年度下期の事業について 他
2027 年 1 月 21 日（木） 日本工業倶楽部	正副会長会議 11：30～13：00	①2026 年度予算執行状況について ②2027 年度予算について ③第 47 回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについて 他
	2027 年新年賀詞交歓会 13：30～15：00	①新年賀詞交歓会



美馬会長

2. 第186回理事会開催

【2026年6月11日（木）、15:35～16:00 日本工業倶楽部】

第186回理事会は、理事総数14名中10名が出席し過半数となり成立しました。審議の結果、業務執行理事の選定について承認されました。

<第186回理事会>

議題1. 業務執行理事の選定について

※一般社団法人日本縫製機械工業会・立石譲二氏が業務執行理事・専務理事に選定されました。

3. 第57回定時総会後懇親会開催

第57回定時総会後に懇親会を開催し、総勢50名の出席があり盛大に執り行われました。

<美馬会長挨拶>

今回、新たに株式会社バルダン 代表取締役社長 長谷川伸様と一般社団法人日本縫製機械工業会 立石 譲二様のお2人が理事に選任されました。また、立石 譲二理事におかれては、業務執行理事・専務理事に選定されたことをご報告申し上げます。今後さらに工業会の事業活動にご尽力をお願い致します。

経済状況についてですが、ロシア、ウクライナの影響はあまり変わらずといったところで推移をしていたと思っていたところ、中東情勢が喧しい。私どもの業界も影響を受けている状況にあります。その影響はあちこちで見られている物価高、食品も上がっているけれどもそれにもまして原油価格高騰によるあらゆる分野への価格転嫁、これが現状では止まらない。私どもの産業は生活に直結をしているところがあるので非常に影響を受けやすくなっていると言えます。

一方で、AI（人工知能）が登場したことによって新たなアイデアを持って顧客の要望に応えるというようなこともできる社会になってきています。この部分においても私ども産業界としては注力をしながら難局を乗り越えていければと思っています。これまで数多くの危機を乗り越える努力や工夫をしてきたことで日本は成長してきたということですから、今回の中東に端を発した危機も皆様とともに乗り越える工夫をしていくということが必要かと思っています。また、社会ではサステナビリティ、脱炭素と声高に言われていますので、合わせて対応していかなければならないということになります。工業会としても取り組むべき課題として受け止めており、**JIAM 2028 OSAKA**においてもこのサステナビリティというものがテーマに含まれていますので、こういったことを踏まえた製品づくり、開発ということを考えていただければと思っています。さて、その**JIAM 2028 OSAKA**ですが会期は2028年5月24日から26日までの3日間、イン

テックス大阪で開催いたします。

また、家庭用ミシンの普及促進事業としては、今年度も「第47回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」の作品募集を開始しております。さらに直近の工業会活動としては7月29・30日の2日間、経済産業省こどもデーのイベントに参加し、ミシンを使ったものづくり体験の機会を提供したいと考えております。工業会を取り巻く環境は、大きくそして急激に変化を続けています。技術革新や制度改革を迅速に捉えていくことが求められており、そのためにもさらなるコミュニケーションを図り、連携していくことが必要だと考えております。今後も、政府および他業界とも連携し、業界の発展に資するという当工業会の目標達成のために、取り組んでまいります。



美馬会長

その後、来賓を代表して、経済産業省 製造産業局 産業機械課 須賀 千鶴 課長にご挨拶いただきました。

<須賀課長の挨拶>

世界情勢は不安定でロシア、ウクライナ紛争、昨年は米中間題、今年は中東情勢でエネルギーも原材料もとにかく安定供給を確保することが国民生活にとっても大変大事ですし、経済活動にとっても大事ということで、政府も異例のことなのですが毎週のように各省閣僚が集まって関係閣僚会議を行っています。その会議のために現状をまとめた資料を毎週作っているという状況のなかで、ここまでつぶさに世の中の物の流れを見たことがな



須賀課長

いというぐらいの勢いで対応しているところです。政府全体としては石油も石化製品もマクロの必要な量は確保できているという計算はできていますが、他方でサプライチェーンは非常に長くて複雑なものですからどうしても偏りが出たり或いはどこかで目詰まりが起きたり、また供給不安みたいなことが発生したりということが、これも日々観測をされています。ホームページで24時間そういった情報提供をお寄せいただく窓口を開設しているとともに、担当経由でも個別の声を寄せていただいてそれを全部突合するとどうやらここで目詰まりを起しているらしいということがかなりの精度で見えてきていて、この部分に関して連絡をしているという作業を行っています。このオペレーションのために経済産業省内ではコールセンターの様な状況にもなっていて、一つ一つの目詰まり解消に取り組んでいるところです。マクロでは足りていますので落ち着いて前年通りの取引を続けていただくことをお願いしています。お困りの時には政府として直ぐに介入するという事で今までにないくらい官民が近いかたちでこの難局を乗り切っていければと思っています。高市政権としてはこんな不確実な時でも成長投資もするという事で、10年ぶりの大胆な設備投資減税をすることになりましたし、研究開発投資も今までよりも予算増額でやっていきます。こうした前向きな投資も使っていただいて皆様のビジネスを前に進めていただけたらと思います。縫製の現場は人手不足が深刻だと思いますし、省力化や生産性向上に対するイノベーションが機械メーカーの皆様に寄せられる期待というのが大変高まっていると思います。経済産業省としても省力化投資のカタログ補助金などいろいろな予算を使いやすく設計をしていますので、是非このようなものを使っていただいて、皆様の製品を売っていただくことが日本全体のものづくりの底上げ、サステナビリティの向上につながるということなのでよろしくお願いします。国際展示会の **JIAM** 展、またホームソーイングコンクールを通じた子供の興味関心の醸成、経済産業省こどもデーでも大変人気のソーイング企画を出していただき、こうしたご活動を通じて引き続き業界全体の発展につながる取り組みを推進していただきたいと思います。

続いて、成川副会長から次の挨拶があり、出席者の健康と発展を祈念し、乾杯しました。

<成川副会長の乾杯挨拶>

Gゼロの時代がやってきた、アメリカ強の時代が終焉を迎えつつあるのかなと思います。イラン情勢につい

てもその一環として考えていくべきだと、我々としても覚悟を決めていかなければならないだろうと考えています。そういった中では、これまでである意味ではグローバルで全く自由なトレードを前提としてやってきたビジネスモデルというものに少し工夫を加えないとやっていけないと感じています。ただそれは単純にリージョナルに持ってくるということではなくて、元々この日本の縫製機械業界は強力な業界だと認識していますし、その意味でも日本国内でできることをもう一度見直してみても一部回帰していくという状況も当然のことながら今後見込んでいかなければなりません。それによってより強固な縫製機械業界が出来上がるのではないのでしょうか。Gゼロの時代が我々にとって決してフェーバーだとは言いませんが、業界にとっては悪い方向ばかりではないということを身に染みて感じているところです。力を合わせていま一度日本の本当のものづくりの力強さを世界にPRしに行きたいと思えます。



成川副会長

<近藤副会長の中締め挨拶>

私は1977年に業界（現ヤマトマシン製造）に入り、また見渡せば多くの方々が創業者でありまさに一国一城の主として、それはとても器の大きい立派な方々ばかりでした。戦後焼野原の中からこの産業を立ち上げ、家庭用マシン、工業用マシン、刺しゅう機、延反機、裁断機たくさんありました。しかし大事なことは立派な部品メーカーがたくさんあったからであり、マシン部品だけではない、マシン針も釜もボビンケースもマシンオイルなども完成メーカーと部品メーカーが共に一緒になって一国の、この日本の産業を作り上げてきたのです。協力し合い、切磋琢磨してそして日本の縫製機械は世界シェア7割を占めるにまで発展成長したのです。でも残念ながら今は分断されてしまった。完成メーカーは中国に工場を作り、部品を現地で調達し、日本の部品メーカーは苦しんでいるのです。部品産業は中国に取られてしまったのです。これではこの業界の再生はおぼつかないと思います。しかし、心配はご無用です。「JIB（ジャパン イズ バック）」、これを皆さんと共に力を合わせてもう一度やろうじゃないか。これがこの工業会のミッションだと



近藤副会長

思っています。

近藤副会長から以上の挨拶があり、3本締めで締めくくられました。



4. 第47回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始

全国の小・中・高校生を対象とした「第47回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」の作品を募集しています。

1. 応募部門

①小学生の部（4・5・6年生）

1)小学生作品部門

（小物・インテリア作品、衣服作品、リメイク・デコ作品、アニメ・ゲームコスチューム作品）

2)ミシンダイアリー部門

当工業会ホームページの「ミシン手作りダイアリー」（<https://jasma.or.jp/diary.html>）に掲載されているレシピを使って作った作品を対象とします。

②中学生の部及び高校生の部

1)小物・インテリア作品部門

2)衣服作品部門

3)リメイク・デコ作品部門

4)アニメ・ゲームコスチューム作品部門

2. 応募方法等

応募作品、応募方法等については、ホームページに掲載の応募要領をご覧ください。

<https://jasma.or.jp/pdf/47oboyoryo.pdf>

3. 締 切

2026年10月30日（金）

4. 応募先・お問い合わせ先

一般社団法人日本縫製機械工業会
「第47回作品コンクール」係

E-mail : info@jasma.or.jp

作品コンクール公式LINEの友だち登録はこちらから



5. お知らせ

●経済産業省 製造産業局 産業機械課の異動

当工業会担当課の課長が、異動となりました。

(敬称略)

7月17日付

(新)

(旧)

是永 基樹

製造産業局 産業機械課長
兼 同局総務課 製造産業 DX 政策企画調整官

産業技術総合研究所
経営企画本部副本部長 兼企画部長

須賀 千鶴

商務情報政策局サービス政策課長
兼 同課教育産業室長
兼 同課スポーツ産業室長

製造産業局 産業機械課長
兼 同局総務課 製造産業 DX 政策企画調整官

暑中お見舞い申し上げます



編集後記

サッカーワールドカップ、テニス・ウインブルドン、バレーボール・ネーションズリーグと、日本勢の挑戦が続いた夏でした。世界の舞台で結果を出す姿は、日々技術を磨き続ける私たち工業会の活動にも通じるものがあります。選手たちが示した「積み重ねた技術」「状況に応じた判断」「仲間との連携」は、ものづくりの現場でも欠かせない価値です。選手たちの姿勢から学んだ前進する力を支えに、日々の業務改善や品質向上に向けて、引き続き取り組んでまいりましょう。

(Y.O)

JASMA 会 報

Vol.23 No.2 2026年7月27日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会

発行責任者: 立石 譲二

〒105-0004

東京都港区新橋 5-25-3 第2一松ビル2階

Tel. 03-6435-8190 Fax. 03-6435-8192

URL <https://jasma.or.jp>

e-mail info@jasma.or.jp